「子どもの人権」考えてみよう
「オトナ目線と子ども目線」

子どもをなぐったり、床に落としたり、また、赤ちゃんを強く揺さぶりすぎて脳に損傷を起こし（乳幼児揺さぶられ症候群というそうです）、死に至らせるニュースを時々目にし、心が痛みます。

これらの行動のきっかけの多くは、子どもの泣き声のようです。

確かに、各種の施設や、交通機関の中などで、泣きはじめた赤ちゃんをつらそうに揺さぶっている母親や父親を見かけるときがあります。「親は泣きやまさなければ迷惑がかかる」という意識があり、周りの視線を冷たく感じ、さらに強く揺さぶってしまうのかもしれません。

この場面からは親の世間体、身勝手、周囲の自己本位の冷たい視線などオトナの事情を感じますが、子ども自身のことが十分に考えられていないように思います。

言い換えれば、オトナが子どもを見るとき、子ども目線からも見て考えることが必要なのに、それが不十分な場面もあるのではないでしょうか。

子どもへの虐待は、親の自己本位（オトナ目線）の考え方が原因の一つと考えられています。

心理研究家の牧村和幸さんは、赤ちゃんが泣くことについて次のように述べています。

『赤ちゃんは、とにかくよく泣きます。泣いてばかりですね。でも、うるさがったりしないでください。なぜなら、赤ちゃんは、泣くのが仕事だからです。赤ちゃんは、ミルクを飲むにも、トイレをするにも、自分ひとりでは何もできません。ですから、泣いて、親を呼んで知らせるという大切な仕事をおこなっているのです。』

ここでいう仕事とは、泣くことによって、自分以外の人とのコミュニケーションの間合いやタイミングをつかむなど、ことばをしゃべり出す前の準備をしているということです。このことは、子どもの今後の精神的成長に大きく影響してきます。

子どもの成長過程や発達段階を知っておくことは大切なことです。知ることで、子どもをより理解できると思います。

牧村和幸さんは『赤ちゃんが泣いていたら、「うるさいなあ」などと思わずに、「今日もいい仕事してるね！」と考えて、しっかりと世話をしてあげてください。』とも述べています。

オトナ目線から見ると「カリカリ」することも、子ども目線に視点をかえると、子どもに八つ当たりすること（虐待）もなく、ゆったりとした気持ちになれるように思います。

市人権推進課（教育庁舎1階）
☎　32・2122
FAX 33・3525
Mail:jinkensuishin@city.komatsushima.i-tokushima.jp

市民文芸　花みずき歌壇（336）　松並敦子・選

黄緑の若葉茂らせ柿の木は小さき小さき実を育ている　田浦町　太田カツミ

《評》若葉の色は木により微妙に異なるが、俳句歳時記にもある「柿若葉」の萌黄色は特に美しい。その葉陰には沢山の小さな実が生っているのを見つけた太田さん。その柿の木の姿を「若葉茂らせ」「小さき小さき実を育ている」と擬人的表現で、柿の木も人間と同じように愛情をもって小さな実を育てているのだと感じた瞬間を巧みに短歌にしている。

折り返し地点はどこにも見当らず余念なく降る梅雨の雨なり　田浦町　西　照子

波音も磯吹く風も湿りおび梅雨は間近と風がささやく　横須町　福島　夢栄

空梅雨に花も野菜も力なく如露の水やりも焼石に水　赤石町　田原トシ子

朝夕にマメアジ釣りで賑わえる岸壁の上は人であふれる　中田町　倉橋　正則

毎日の畑仕事に腰たたきばあばは生き甲斐と一生懸命（美馬高等女学校）略して美女会は傘寿過ぎれど美女揃いなり　坂野町　橋本千代乃

会う人会う人一雨欲しいと言いながら乾きし畑の草を抜きおり　横須町　三宅　敏恵

引力をかけられしごと集中す大型店の閉店セール　櫛渕町　松下　玉枝

雨の音雨の楽曲流れきて雨の短歌を胸に浮かべる　立江町　湯浅かや子

横須町　山﨑　泰子

《今月は、市県民税・後期高齢者医療保険料２期分、国民健康保険税・介護保険料３期分の納付月です。》市税の納付は、確実・安心・便利な口座振替をご利用ください。